

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	5	1	5	交通安全	交通安全対策の推進
実施計画事業名					
自転車駐車場管理運営費					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
7	03	01	14	自転車駐車場管理運営費	
担当課・係等					
都市計画課交通政策係					

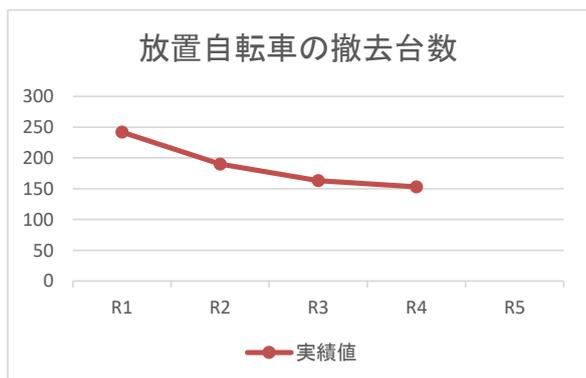
実施計画整理番号	
405010502	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	自転車駐車場を適正に管理することで、駅周辺の良好な交通環境が図られることを目指す。	自転車駐車場の管理運営を委託する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
駅周辺の良好な交通環境整備のため、JR茂原駅、新茂原駅に設置してある自転車駐車場を管理運営し、ひいては施策「交通安全対策の推進」に寄与する。		

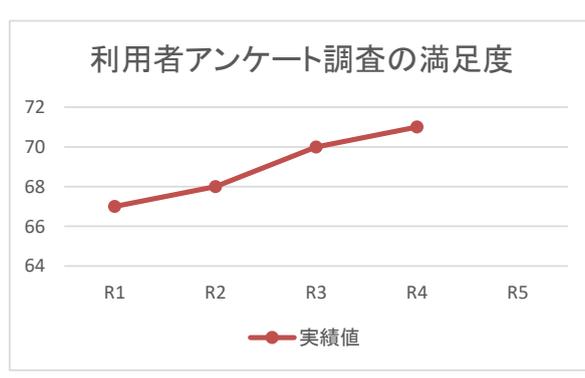
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	39,233	39,233	38,701	38,521	38,507	38,237			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円	31,157	31,157	27,337	31,157	29,868	29,049			
	一般財源	千円	8,076	8,076	11,364	7,364	8,639	9,188			
	人工数	人	0.5			0.6					
	人件費	千円	3,782			4,538					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
指定管理者を指定し、自転車駐車場の管理運営を行う。	放置自転車の撤去台数	台	目標 減少を目指します	減少を目指します	減少を目指します	減少を目指します
		実績値	190	163	153	
成果	成果指標	%	目標	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します
			実績値	68	70	71

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
4	5	1	5	自転車駐車場管理運営費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	01	14	自転車駐車場管理運営費

整理番号
405010502

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・自転車駐車場施設管理については、外灯修繕等を実施し、施設の環境整備を図った。 ・自転車駐車場業務委託については、公益社団法人茂原市シルバー人材センターに委託し、実施した。 ・自転車駐車場用地借上げについては、東日本旅客鉄道株式会社より、施設運営に必要な用地の借上げを行った。 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・自転車駐車場施設管理については、必要な修繕等を行うなど、引き続き施設の環境整備を図る必要がある。 ・自転車駐車場業務委託については、公益社団法人茂原市シルバー人材センターに委託し、計画どおり実施できた。 ・自転車駐車場用地借上げについては、施設の利用状況を勘案して、施設運営に必要な用地の借上げを行う必要がある。 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> ・自転車駐車場施設管理については、指定管理者とも連携を図りながら施設の状況を把握し、必要な環境整備を図る。 ・自転車駐車場業務委託については、今後も引き続き公益社団法人茂原市シルバー人材センターに委託し、実施する。 ・自転車駐車場用地借上げについては、施設の利用状況を注視し、施設運営に必要な用地の借上げを行う。 	
企画政策課の評価	評価理由
A	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 駅周辺の良好な交通環境の整備に資する事業と認められる。引き続き、関係機関と連携を図るとともに、適切な運営管理に努めていただきたい。

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	6	1	1	消費生活	消費者の自立支援
実施計画事業名					
消費生活相談事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
2	01	14	02	消費生活相談事業	
担当課・係等					
生活課庶務相談係 消費生活センター					

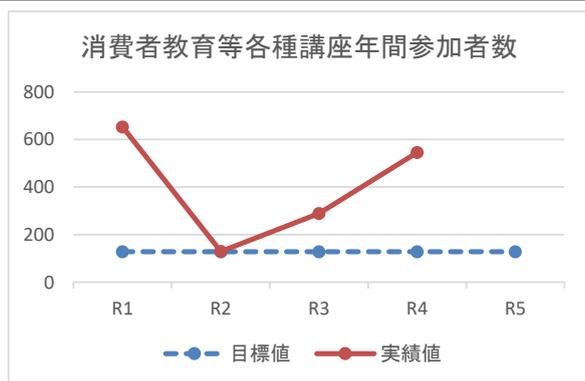
実施計画整理番号	
406010101	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	<p>トラブルを未然に防ぐため、市民を対象とした消費生活講座や中学生を対象とした出前授業を行い、消費生活に関する知識の普及や啓発に努めるとともに、消費者の保護を図り、市民が安全で安心な消費生活を送れるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 消費生活相談の実施 消費生活講座の実施 出前授業の実施 広報等による情報提供
	<p>基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)</p> <p>消費者被害の減少に向け、市民への啓発活動や相談員の研修を実施することで、市民の消費生活に関する知識向上及び相談員の資質向上に繋がり、ひいては施策「消費者の自立支援」に寄与する。</p>	

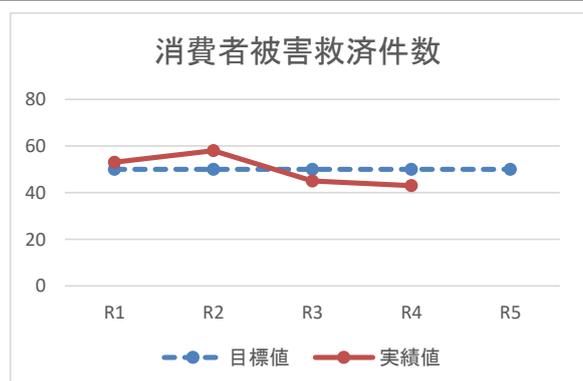
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	8,701	8,779	8,672	8,888	8,996	8,893			
	国補助	千円									
	県補助	千円	90	1,037	1,017	280	690	689			
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	8,611	7,742	7,655	8,608	8,306	8,204			
	人工数	人	1.1			1.1					
	人件費	千円	8,319			8,319					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
<p>・トラブルを未然に防ぐため、各種講座を行う。</p> <p>・広報誌等によるセンター案内、ウェブサイトへの情報掲載を実施する。</p>	消費者教育等各種講座年間参加者数	回	128	維持します	維持します	維持します
		実績値	129	289	545	
	消費者トラブル未然防止のための情報発信数	回	30	維持します	維持します	維持します
		実績値	6	21	33	
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
<p>消費者の知識向上に努めるとともに、消費生活相談体制の充実を図り、市民が安全で安心な消費生活を送れるようにする。</p>	消費者被害救済件数	件	50	維持します	維持します	維持します
		実績値	58	45	43	

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
4	6	1	1	消費生活相談事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	14	02	消費生活相談事業

整理番号
406010101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> 消費生活相談を平日毎日実施した。 相談員及び外部講師による消費生活講座を実施した。(参加者数:第1回25名、第2回26名、第3回27名) 市内中学1年生を対象に出前授業を実施し、消費者教育の推進に努めた。(3校) 広報誌などにより、消費者センターの周知に努めた。(広報もばら1回、センターだより毎戸24,800部、市内中学1年生640部配布) 市公式ウェブサイト、広報もばら等に現在流行している消費者被害の情報を掲載し、注意喚起を行った。(ウェブ25回、広報もばら4回、防犯BOXだより2回) 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> 2022年4月に成年年齢が引き下げられたことで若年者のトラブル増加が見込まれることから、今後も消費者教育の推進を図っていく必要がある。 消費生活相談の実施により、消費者トラブルの未然防止および被害救済が図られたが、高齢者からの相談が依然として多くを占めており、より一層の注意喚起を行う必要がある。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	A: 計画どおり事業を進めることが適当		⑤更なる事業の推進	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	<ul style="list-style-type: none"> スマホやタブレットの普及により、小中学生においても消費者トラブルは身近になっていることから、市内全中学校での出前授業の実施や小中学生向けのチラシを配布するなどの啓発活動を行い、消費者教育の充実・強化に努める。 複雑多様化する消費者問題に対し、あらゆる年代に向け、情報発信等の啓発活動を通じて、自立した消費者の育成に努める。 			
	企画政策課の評価		評価理由	
A <ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 		本事業は、市民の安全安心な消費生活に資する事業と認められる。引き続き、消費生活相談体制を維持し、複雑多様化する消費者問題に対応していくとともに、様々な媒体を用いあらゆる年代に向けて情報発信を展開し、トラブルの未然防止及び自立した消費者教育に努めていきたい。		

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	1	1	1	防災・消防	防災体制の充実
実施計画事業名					
公立保育所耐震診断事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	02	04	02	公立保育所維持管理費	
担当課・係等					
子育て支援課保育係					

実施計画整理番号	
401010101	
総合戦略整理番号	

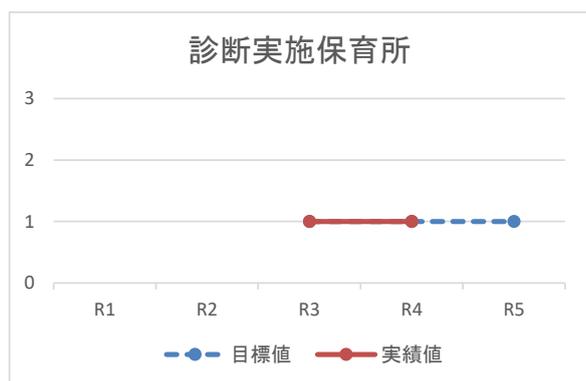
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	大規模自然災害が発生したときでも園児の生命の保護が最大限図られるようにする。	旧耐震基準で建設された公立保育所の耐震診断を実施する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	保育所の耐震性を確認し、安全を確保するうえで必要な工事等を把握することで施策「防災体制の充実」に寄与する。	

投入される行政コスト (DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	6,160	5,980	5,500	12,782	7,722	6,820			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	6,160	5,980	5,500	12,782	7,722	6,820			
	人工数	人	0.2			0.2					
	人件費	千円	1,513			1,513					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
旧耐震基準で建設された公立保育所に対して耐震診断を実施する。	診断実施保育所	箇所	目標値	1	1	1
		実績値	1	1		
			目標値			
			実績値			
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
安全が確保されることにより、園児の生命の保護が最大限図られる。			目標値			
			実績値			

活動指標の動向

成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
4	1	1	1	公立保育所耐震診断事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	02	04	02	公立保育所維持管理費

整理番号
401010101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<p>豊田保育所の耐震診断を実施し、所定の耐震性を有していることを確認した。</p>		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
総合評価		
<p>B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)</p>		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<p>建物本体以外の非構造部材について、老朽化等により改修の必要性がある場合は、早急に方針を定めて対応していく必要がある。</p>		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<p>建築課と適時協議し、豊田保育所の非構造部材の改修を検討するとともに、鶴枝保育所の耐震診断を進めていく。</p>	
企画政策課の評価	評価理由
<p>A</p> <p>A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当</p>	<p>耐震診断を実施することで防災体制の充実に資する事業と認められ る。引き続き、計画どおり実施することで利用者の安全・安心が図られ るよう努めていただきたい。</p>

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	1	1	1	防災・消防	防災体制の充実
実施計画事業名					
防災行政無線施設事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
2	01	13	01	防災行政無線施設事業	
担当課・係等					
防災対策課 防災対策係					

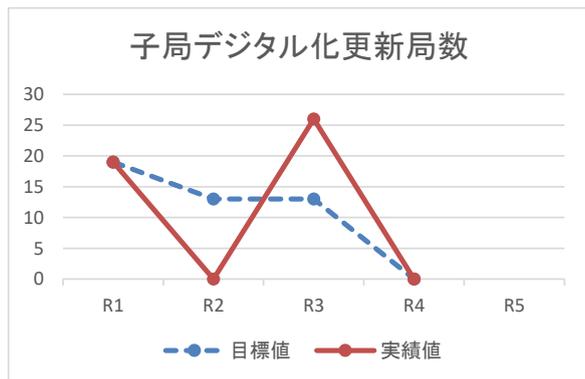
実施計画整理番号	
401010102	
総合戦略整理番号	

事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	災害発生時における市民への迅速かつ確かな情報伝達手段として整備している防災行政無線屋外子局のデジタル化及び電波環境改善工事を行い、災害情報を迅速かつ確に入手できる環境とするとともに、機能向上と難聴地区の解消を図る。	老朽化している防災行政無線屋外子局のデジタル化への更新、電波環境改善工事を実施し、難聴地域解消対策を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	災害情報伝達手段を強化することで、施策「防災体制の充実」に寄与している。	

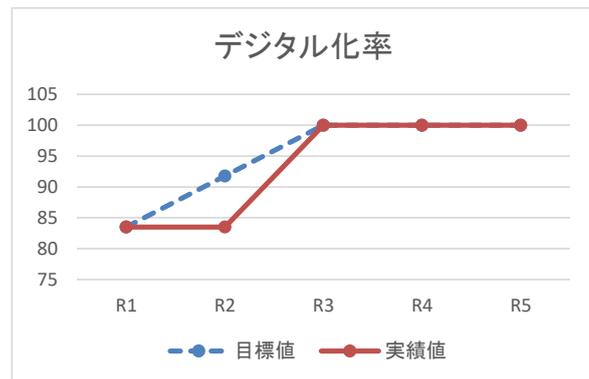
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	80,322	116,326	109,484	80,532	88,892	88,865			
	国補助	千円									
	県補助	千円	1,590	1,590		3,845	8,680	7,534			
	市債	千円	76,142	112,100	109,400	71,800	71,800	71,700			
	その他	千円	1,000	1,000	50	1,000	2,000	120			
	一般財源	千円	1,590	1,636	34	3,887	6,412	9,511			
	人工数	人	0.5			0.5					
	人件費	千円	3,782			3,782					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
老朽化している防災行政無線屋外子局のデジタル化への更新、電波環境改善工事の実施	デジタル化した子局数	基	13	13	-	-
		実績値	0	26	-	-
	電波改善工事	箇所	0	0	1	0
		実績値	0	0	1	
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
難聴地域の解消	デジタル化率の向上	%	91.8	100	100	100
		実績値	83.5	100	100	

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
4	1	1	1	防災行政無線施設事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	13	01	防災行政無線施設事業

整理番号
401010102

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<p>防災行政無線電波環境改善工事を実施し、親局の出力増強及び再送信子局を新設することにより、難聴地域解消に努めた。</p>		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
総合評価		
<p>B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)</p>		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<p>防災行政無線電波環境改善工事が完了し、親局の出力増強及び再送信子局を新設し、難聴地域解消に努めたが、市内全域での難聴地域解消には至っていない。</p>		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<p>引き続き、難聴地域解消に努めるとともに、戸別受信機の貸与や安全・安心メール等の情報伝達手段の周知を図っていく。</p>	
企画政策課の評価	評価理由
<p>B</p> <p>A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当</p>	<p>災害情報を迅速かつ的確に入手できる環境を整備することにより、災害情報伝達手段の強化に一定の成果を挙げていると認められる。今後は、市民に対して更なる安全・安心メールやSNS等の新たな情報伝達手段の積極的な活用を促進するとともに、新たな情報伝達手段を効果的に活用した情報発信に努めていただきたい。</p>

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	テーマ名
4	1	1	1	防災・消防
実施計画事業名				
防災重点農業用ため池ハザードマップ作成事業				

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	1	3	11	ため池ハザードマップ作成事業
担当課・係等				
農政課基盤整備係				

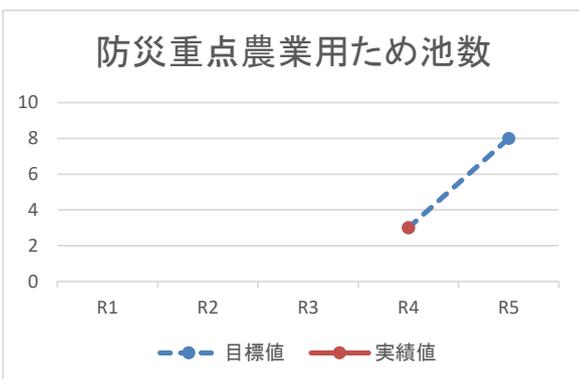
実施計画整理番号	
401010103	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	ため池ハザードマップの作成により、ため池の決壊による水害その他の災害から地域住民の生命及び財産を保護する。	ハザードマップ作成にあたり、浸水想定区域のほか、避難路や避難場所を記載し、緊急時における迅速な避難につなげるとともに、避難時には周辺地域の住民との共助の必要もあるため、ハザードマップ区域内の住民等に配布を行うとともに市公式ウェブサイトへ掲載し、住民への周知を行う。また、住民の参加を得て、ワークショップ等による意見交換を行うなど、住民の防災意識の向上を図られるよう工夫する。
基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)		
近年、水害が激甚化・頻繁化している状況や気候変動の影響により、今後の降雨量や洪水頻度の増加が懸念されている。ため池ハザードマップを作成し住民に周知することで、ため池が決壊した際の迅速な避難行動や防災意識の向上を図られる。		

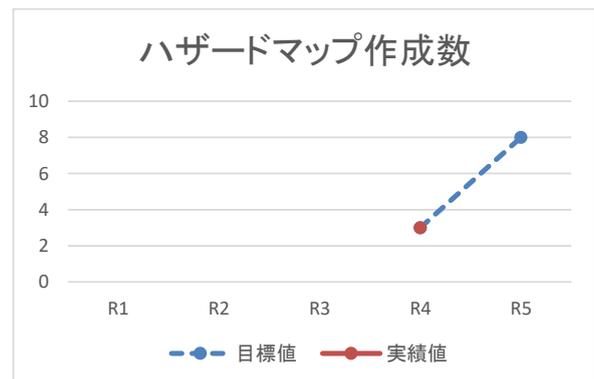
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円					5,786	3,025			
	国補助	千円									
	県補助	千円					5560	3025			
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円					226				
	人工数	人					0.55				
	人件費	千円					4160				

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
防災重点農業用ため池のハザードマップを作成する。	ハザードマップを作成した防災重点農業用ため池数	箇所	目標値		3	8
		箇所	実績値		3	
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
ため池が決壊した際のハザードマップを作成し、住民に周知することで迅速な避難行動や防災意識の向上を図る。	ハザードマップ作成数	箇所	目標値		3	8
		箇所	実績値		3	

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
4	1	1	1	防災重点農業用ため池ハザードマップ作成事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	1	3	11	ため池ハザードマップ作成事業

整理番号
401010103

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>・浸水範囲の自治会役員、農業団体、ため池管理者、消防団の方々に説明会を開催し、意見交換を行った。</p> <p>・ため池決壊時の浸水範囲や避難場所を記載したハザードマップを作成し、緊急時における迅速な避難につなげるとともに、住民の防災意識の向上が図られた。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
住民に対する説明会が1回だけで、その後は個別の確認となり、意見交換が少なかった。			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	③連携・協働の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	委託業務を早期に発注し、住民との意見交換を複数回実施するよう努める。	
	企画政策課の評価	評価理由
B	<p>A: 計画どおり事業継続が適当</p> <p>B: 事業改善の検討が必要</p> <p>C: 事業の休止・廃止の検討が必要</p> <p>D: 事業終了が適当</p> <p>住民の災害時における迅速な避難と防災意識の向上につながる事業と認められる。引き続き、地域住民等との意見交換や地域関係団体との協議を重ね、対象ため池のハザードマップを計画的に策定に努めていただきたい。</p>	

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	1	1	2	防災・消防	防災体制の充実
実施計画事業名					
自主防災組織支援事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
2	01	13	02	自主防災組織支援事業	
担当課・係等					
防災対策課 防災対策係					

実施計画整理番号	
401010201	
総合戦略整理番号	41101

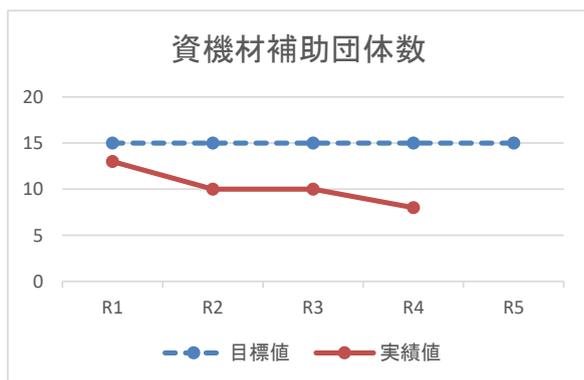
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	自主防災組織に支援を行い、地域防災力の向上を図る。	新設自主防災会設立前には説明会を実施し、設立時には資機材を貸与する。既存自主防災会には、追加資機材の補助を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

自然災害から市民の生命・財産を守り、被害を最小限にするため、災害発生時に自ら考え行動できるように防災教育を推進するとともに、地域における自主防災組織の結成、活動を支援し、「自助」、「共助」の取り組みを強化することで、施策「防災体制の充実」に寄与している。

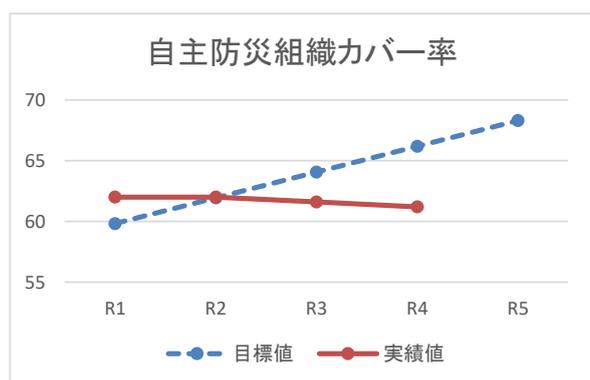
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	3,141	3,141	1,148	3,141	2,935	1,710			
	国補助	千円									
	県補助	千円	1,320	1,320	538	1,320	1,320	815			
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	1,821	1,821	610	1,821	1,615	895			
	人工数	人	0.5			0.5					
	人件費	千円	3,782			3,782					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
自主防災組織へ資機材の補助 出前講座の実施	資機材の補助団体数	団体	15	15	15	15
		実績値	10	10	10	
	出前講座の実施	回	15	15	15	15
		実績値	7	8	11	
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
自主防災組織の活動活性化	自主防災組織カバー率	%	61.95	64.07	66.19	68.3
		実績値	62.0	61.6	61.2	

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
4	1	1	2	自主防災組織支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	13	02	自主防災組織支援事業

整理番号
401010201

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・新規自主防災組織に資機材、戸別受信機の貸与(2団体) ・既存自主防災組織の資機材等に対する補助事業(8団体) 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる
総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・新規自主防災組織2団体への資機材の貸与、及び既存自主防災組織8団体への資機材等を補助することで、地域防災力の向上が図られた。 ・課題として、自主防災組織の活動については、各自主防災組織の意欲等によるものが大きく、組織の活性化を促す方策が必要である。 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
各自主防災組織の活動状況を把握し、活動していない自主防災組織に対し、市がきっかけ作り等に関与し、活動の活性化を図っていく。	
企画政策課の評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 自主防災組織へ資機材等を補助することで、地域防災力の向上に一定の成果があったと認められる。一方で、活動していない自主防災組織の活動の活性化を促進し、有事の際の共助に資するよう努めていただきたい。

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	1	1	2	防災・消防	防災体制の充実
実施計画事業名					
地域支え合い体制づくり事業					

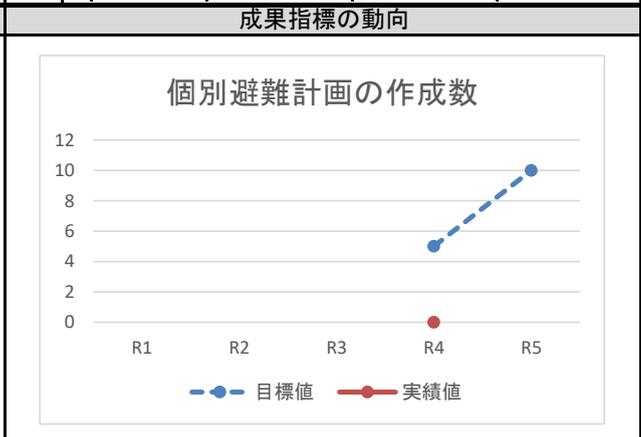
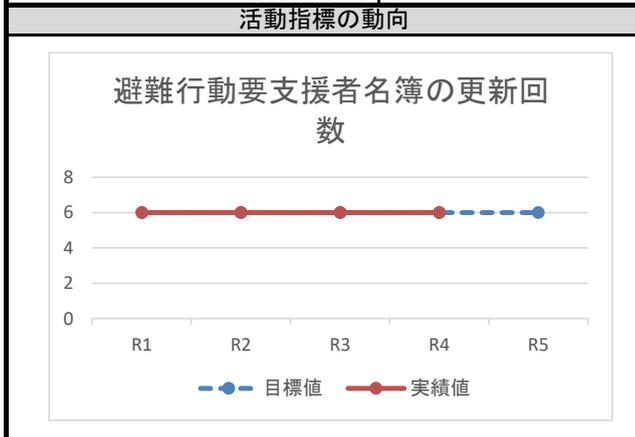
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
3	01	01	07	地域支え合い体制づくり事業	
担当課・係等					
社会福祉課 地域福祉係					

実施計画整理番号	
401010202	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	茂原市避難行動要支援者避難支援プラン【全体計画】に基づき避難行動要支援者を把握し、市民の共助の取り組みを推進して、避難支援体制の構築を図る。	避難行動要支援者名簿を作成し、定期的に更新する。避難行動要支援者名簿を避難支援の実施に必要な限度で避難支援等関係者に適切に提供する。真に避難支援が必要な者の個別避難計画を作成する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
防災体制においては、市民が自らの命を守る「自助」、協力して助け合う「共助」の重要性が高まっており、災害時における要配慮者対策を推進して「共助」の取り組みを強化することは、施策「防災対策の充実」に寄与する。		

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	5,874	5,469	4,376	198	396	396			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円	5,873	5,469	4,376		396	396			
	一般財源	千円	1	0	0	198	0	0			
	人工数	人	0.58			0.35					
	人件費	千円	4,387			2,648					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
災害時における要配慮者対策を推進して「共助」の取り組みを強化するため、避難行動要支援者名簿を作成し、定期的に更新する。	避難行動要支援者名簿の更新回数	回	6	6	6	6
		実績値	6	6	6	
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
		人	—	—	5	10
市民の共助の取り組みを推進して、実効性のある避難支援体制の構築を図る。	個別避難計画の作成数	実績値	—	—	0	



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
4	1	1	2	地域支え合い体制づくり事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	01	01	07	地域支え合い体制づくり事業

整理番号
401010202

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・要配慮者を把握して避難行動要支援者名簿を定期的に更新することで、災害に備えることができた。また、名簿情報を避難支援等関係者に適切に提供することで地域の共助力を推進した。 ・茂原市避難行動要支援者避難支援プラン(全体計画)を改訂し、個別避難計画を作成する体制を整備した。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・避難行動要支援者名簿を作成し、名簿情報を避難支援等関係者に適切に提供しているが、地域における避難支援等関係者の選出が課題となっている。 ・避難行動要支援者名簿は、避難能力の指標となり得る要件を用いて対象者を抽出していることから、今後、個別避難計画の作成に取り組んでいくに当たっては、ハザードマップで危険な地域に住む真に避難支援が必要な者から優先して進めていく必要がある。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要		⑤更なる事業の推進	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	<ul style="list-style-type: none"> ・実効性のある個別避難計画を作成するため、地域防災の担い手や要配慮者本人の心身の状況や生活実態を把握している福祉専門職や職種団体等、様々な関係者と連携して取り組んでいく。また、個別避難計画の作成は優先度の高い者から作成を進める。 ・本事業は災害対策基本法の一部改正(令和3年5月)により具体的な進め方が示されたことから、今後は経常事業とし、国の指針で定めるところの「改正法施行後からおおむね5年程度」に個別避難計画が作成できるよう事業を進める。 			
	企画政策課の評価		評価理由	
B		<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 避難支援者の個別避難計画を作成することで、防災体制の充実が図られる事業と認められる。関係機関と連携して優先順位により早期に計画が作成できるよう努めていただきたい。		

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	1	1	2	防災・消防	防災体制の充実
実施計画事業名					
がけ地崩壊対策事業補助金					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
7	02	01	08	がけ地崩壊対策事業	
担当課・係等					
土木管理課・用地管理係					

実施計画整理番号	
401010203	
総合戦略 整理番号	

事業 概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	地震や大雨等により、がけ地崩壊による災害から危険区域内の住民の生命及び財産を保護するため、コンクリート造、その他これに類する材料を用いた構造で崩壊しないようにする。	がけ地崩壊の予防や復旧対策を行う者に対し、費用の一部を補助する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	がけ地崩壊による災害から市民の生命、身体及び財産を守り、ひいては施策「防災体制の充実」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	1,000	1,000	0	1,000	1,000	0			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	1,000	1,000	0	1,000	1,000	0			
	人工数	人		0.15			0.15				
	人件費	千円		1,134			1,134				

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
がけ地崩壊の予防や復旧対策を行う者に対し、費用の一部を補助する。			目標値			
			実績値			
			目標値			
			実績値			
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
地震や大雨等により、がけ地崩壊による災害から危険区域内の住民の生命及び財産を保護する。			目標値			
			実績値			
活動指標の動向			成果指標の動向			

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
4	1	1	2	がけ地崩壊対策事業補助金

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	02	01	08	がけ地崩壊対策事業

整理番号
401010203

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・がけ地崩壊対策事業補助金について、広報もばらへの掲載や住民回覧にて周知を図った。 ・住民からの問い合わせや相談が数件あったが、実際に工事までには至らなかった。 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
総合評価		
C: 成果を挙げる事ができなかった(目標・目的を達成していない)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・実際に業者から見積りを取ると工事が高額なため、断念するケースが見受けられた。 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> ・工事費が高額なため、今後、補助金額を含めた要綱の見直しが必要である。 	
企画政策課の評価	評価理由
C	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 <p>がけ地崩壊の予防等の補助を実施することで、市民の生命及び財産の保護につながる事業ではあるが、現状制度の利用者がなく制度設計の見直しが必要である。他の事業との優先順位を考慮し事業の休止が妥当と判断する。</p>

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	1	1	3	防災・消防	防災体制の充実
実施計画事業名					
災害非常用対策事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
2	01	13	03	災害非常用対策事業	
担当課・係等					
防災対策課 防災対策係					

実施計画整理番号	
401010301	
総合戦略整理番号	41103

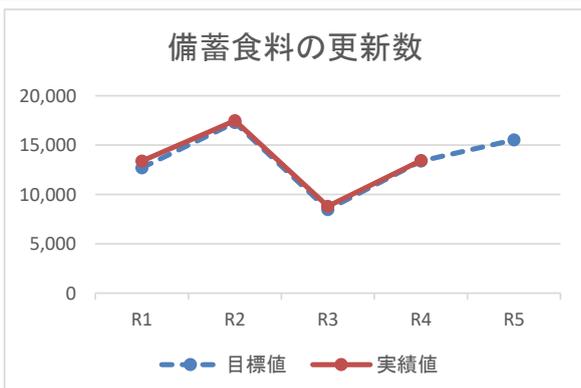
PLANN	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	災害時に速やかに防災体制を確立し、市民が迅速な災害情報の受信及び災害備蓄品の提供を受けられるようにする。また、広域医療救護所の設置により、迅速かつ効率的な医療救護を受けられるようにする。	地域防災訓練の実施、防災気象情報システムの運用、災害備蓄品の整備、各種計画の改定、広域医療救護所の整備費補助等の災害対策事業を行い、被害の軽減や医療救護体制を整備を図る。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

災害応急体制の充実として、高齢者等の要配慮者に対応した避難所の整備を実施している。また、広域医療救護所の設置により、迅速かつ効率的な医療救護体制の整備を実施しており、施策「防災体制の充実」に寄与している。

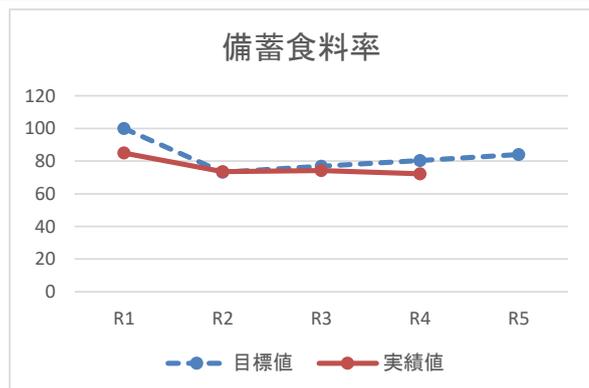
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	20,998	133,222	126,206	12,279	12,279	11,719			
	国補助	千円		112,224	105,512						
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	20,998	20,998	20,694	12,279	12,279	11,719			
	人工数	人	0.9			0.9					
	人件費	千円	6,807			6,807					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
備蓄食料の計画的な更新等により、災害備蓄品を整備する	備蓄食料の更新数	食	目標値 17280	8470	13378	15536
		実績値 17480	8400	13440		
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
備蓄食料の拡充を図ることで、災害時に市民が災害備蓄品の提供を受けられる環境を整備する	食料備蓄率	%	目標値 73.21	76.83	80.43	84.04
		実績値 73.61	74.23	72.41		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
4	1	1	3	災害非常用対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	13	03	災害非常用対策事業

整理番号
401010301

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄食料の更新 ・地域防災訓練の実施(茂原地区) ・もばら安全安心メール等、情報伝達手段の加入促進及び啓発 ・広域医療救護所のデッドストックの更新整備(長生病院、塩田記念病院) 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる
	総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄計画に基づく備蓄品の更新し、避難所の整備を実施することができたが、避難所の備蓄品等の点検に膨大な時間と労力がかかる。 ・物価高騰により、備蓄品の計画通りの更新が今後、厳しくなる可能性がある。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災関連組織と連携し、避難所備蓄倉庫の点検等を検討する。 ・物価高騰については、消費期限が長期の備蓄品の購入等の対応が必要となってくる。 	
企画政策課の評価		評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 	本事業は防災体制の充実に寄与していると認められる。有事の際に備えより効果的・効率的な防災体制の確立のため、地域の防災関連組織との連携に努めていただきたい。

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	2	1	1	道路	生活道路の整備
実施計画事業名					
道路改良事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
7	01	03	01	道路改良事業	
担当課・係等					
土木建設課 道路整備係					

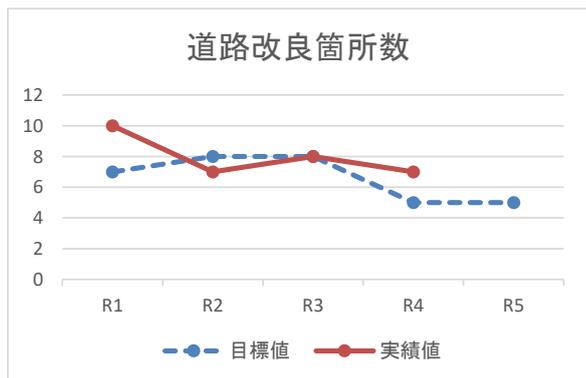
実施計画整理番号	
402010101	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	道路整備を行うことで、道路利用者が安全・安心に通行できるようにする。	道路事業用地の取得及び支障物件の移転補償、道路改良工事の設計、工事の施行管理を実施する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	道路は、交通機能・空間機能を有し、人々の生活や経済活動に不可欠な社会基盤として、大きな役割を果たしている。人にやさしい道路の整備により、市民生活の安全を確保する事につながり、ひいては施策「生活道路の整備」に寄与する。	

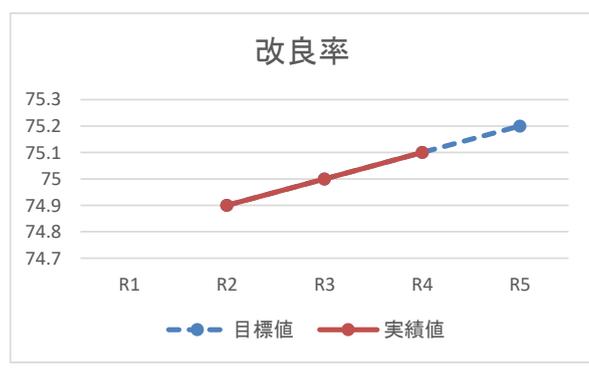
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	104,248	131,303	110,327	265,000	243,594	201,498			
	国補助	千円				59,900	41,549	40,662			
	県補助	千円				109,000	75,545	66,790			
	市債	千円	90,800	108,400	88,900	84,900	81,900	51,500			
	その他	千円					33,280	34,139			
	一般財源	千円	13,448	22,903	21,427	11,200	11,320	8,407			
	人工数	人	2.2			3.4					
	人件費	千円	16,639			25,714					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
道路改良事業を進めることで、市民生活の安全確保に努める。	道路改良箇所数	箇所	8	8	5	5
		目標値	7	8	7	
成果	成果指標	単位	74.9	75.0	75.1	75.2
		%	74.9	75.0	75.1	

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
4	2	1	1	道路改良事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	03	01	道路改良事業

整理番号
402010101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・道路改良箇所数78箇所 ・市道1級8号線他4箇所において道路改良工事を実施した。 ・市道2級5号線において橋梁上部工撤去工事を実施した。 ・市道3級8158号線他4箇所において測量・設計等を実施した。 ・道路改良事業を進めることで、道路利用者が安全・安心に通行できるようになり、安全性・利便性が向上した。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・生活道路の整備として、目標としていた5箇所以上の道路改良が実施ができた。 ・住民要望は増加しており要望に対する進捗率が図れない状況であり、事業費増による対策が必要である。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・交付金を活用するなど、財源の確保に努めるとともに、最小の経費で最大の効果をもたらすよう、工法等も検討する。 	
	企画政策課の評価	評価理由
A	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 <p>本事業は、道路整備により道路利用者の安全・安心な通行に資するものと認められる。引き続き、財源確保、歳出の抑制に努めながら、事業の優先順位を考慮しより効率的な事業実施に努めていただきたい。</p>	

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	2	1	2	道路	生活道路の整備
実施計画事業名					
道路舗装新設事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
				道路舗装新設事業	
担当課・係等					
土木建設課 道路整備係					

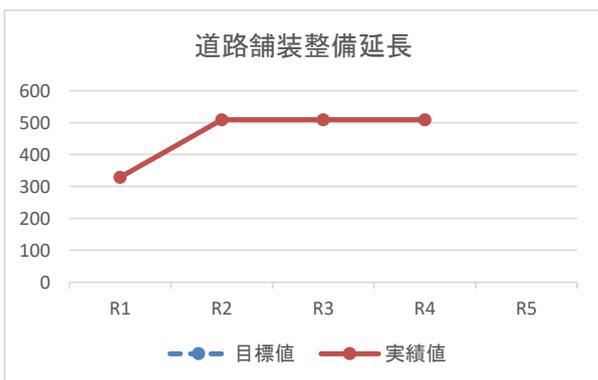
実施計画整理番号	
402010201	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	道路整備を行うことで、道路利用者が安全・安心に通行できるようにする。	未舗装道路の舗装工事を実施する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	道路は、交通機能・空間機能を有し、人々の生活や経済活動に不可欠な社会基盤として、大きな役割を果たしている。人にやさしい道路の整備により、市民生活の安全を確保する事につながり、ひいては施策「生活道路の整備」に寄与する。	

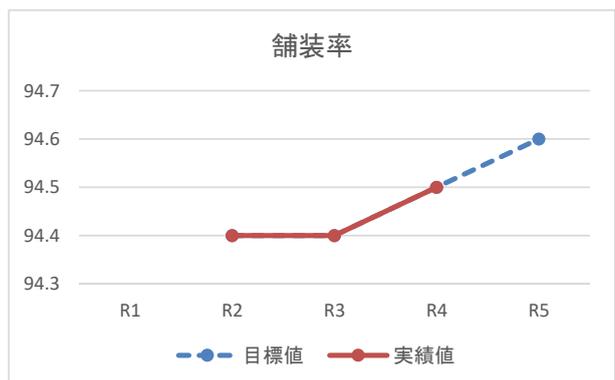
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円				6,600	0	0			
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円				6,600	0	0			
人工数	人		0.2		0.2						
人件費	千円		1,513		3025						

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
道路舗装新設事業を進めることで、市民生活の安全確保に努める。	道路舗装整備延長 (令和元年度からの累計)	目標値	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します
		実績値	509	509	509	
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
道路舗装新設事業を進め、道路利用者が安全・安心に通行できるようにする。	舗装率	目標値	94.4	94.4	94.5	94.6
		実績値	94.4	94.4	94.5	

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
4	2	1 2	道路舗装新設事業	

予算科目				
款	項	目	事	事業名
				道路舗装新設事業

整理番号
402010201

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・道路舗装整備延長距離 0m ・道路舗装新設事業の予算配分が無かったため、事業の進捗は無かった。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	C: 効率性について検討が必要である
	総合評価		
D: 実施していない・実施できなかった			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・生活道路の整備として、目標を設定できなかった。 ・住民要望は増加しており要望に対する進捗率が図れない状況であり、事業費増による対策が必要である。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・交付金などの財源を検討するとともに、最小の経費で最大の効果をもたらすよう、工法等も検討する。 	
企画政策課の評価		評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 	道路整備により道路利用者の安全・安心な通行に資する事業と認められる。歳入確保・歳出抑制を図るとともに、優先順位を考慮した事業実施に努めていただきたい。

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	2	1	2	道路	生活道路の整備
実施計画事業名					
道路橋梁維持補修費					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
7	01	02	02	道路橋梁維持補修費	
担当課・係等					
土木管理課 維持補修係					

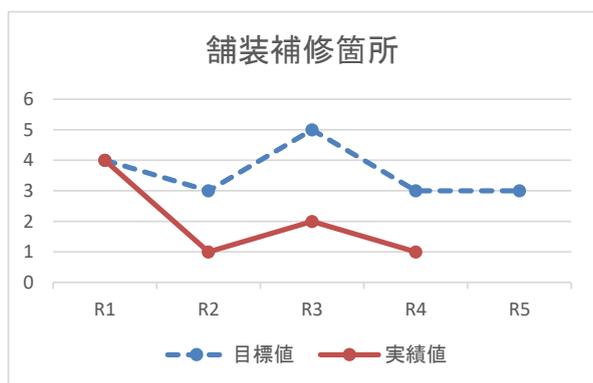
実施計画整理番号	
402010202	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	道路補修を実施することで、交通の円滑化と事故防止、その上、生活環境の保全が図られる。	道路舗装の点検を行い、それを基に修繕計画を作成し計画的に修繕を実施する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	道路に関連する社会インフラ施設の管理及び維持補修を行う事により、交通の円滑化や事故防止、更には、生活環境の保全が図られることで、ひいては、施策「生活道路の整備」に寄与している。	

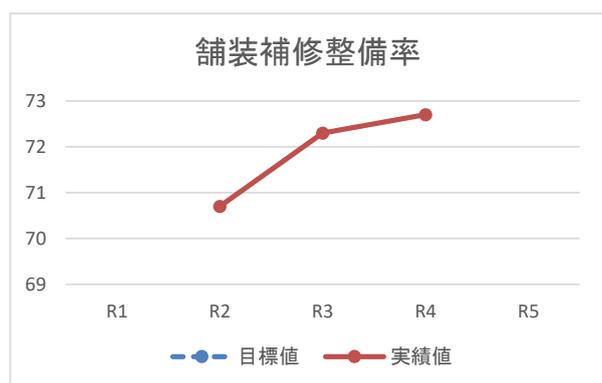
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	101,525	161,561	113,399	125,525	288,945	263,439			
財源内訳	国補助	千円	25,570	25,570	15,037	43,619	68,755	61,084			
	県補助	千円									
	市債	千円	52,100	77,014	53,802	32,100	160,600	146,800			
	その他	千円					7,700	6,677			
	一般財源	千円	23,855	58,977	44,560	49,806	51,890	48,878			
人工数	人		2.6			3.3					
人件費	千円		19,664			24,958					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
道路の点検を行い、各施設の修繕計画を作成すると共に、計画に基づき修繕や維持管理を行う。	舗装修繕計画に基づく舗装補修箇所	路線	目標値	3	5	3	3
			実績値	1	2	1	
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
修繕計画に基づき、道路施設の維持補修や修繕を実施する事で、交通の円滑化、事故防止が図られる。	道路舗装補修整備率	%	目標値	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します
			実績値	70.7	72.3	72.7	

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
4	2	1 2	道路橋梁維持補修費	

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	02	02	道路橋梁維持補修費

整理番号
402010202

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> 道路付属物点検(道路標識) 52箇所 道路舗装補修工事(1・2級及び幹線道路) 3路線(うち繰越2路線) 道路舗装補修工事(その他市道) 11路線 道路維持補修工事 10箇所 トンネル補修工事 4箇所(うち繰越1トンネル) トンネル補修設計業務 1件 各種道路補修材購入 1式 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>当初の予算どおりに実施されている事業については一定の成果が得られていると認められるが、補修(修繕)費において比較的大きな予算を伴う為、各種インフラ施設の老朽化と修繕のバランスが取れていない。 この為、舗装等の補修箇所が多数残っている。</p>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	④調達方法の見直し
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>補修や修繕においては、耐久性の高い材料やコスト縮減が可能な工法の採用などを組み合わせ、緊急性や必要性を考慮しながら、効率の高い補修及び修繕を行っていく。</p>	
企画政策課の評価		評価理由
<p>A</p> <p>A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当</p>		<p>道路補修の実施により、交通の円滑化と事故防止及び生活環境の保 全に資する事業と認められる。引き続き、より効率的・効果的な手法を 用いるとともに、優先順位を考慮し事業実施に努めていただきたい。</p>

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	2	1	2	道路	生活道路の整備
実施計画事業名					
橋梁長寿命化修繕事業					

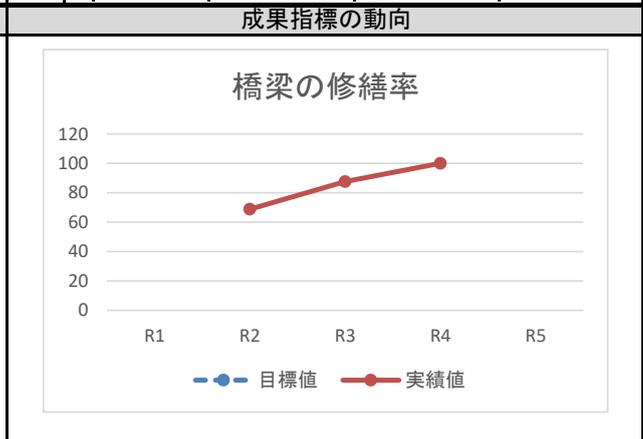
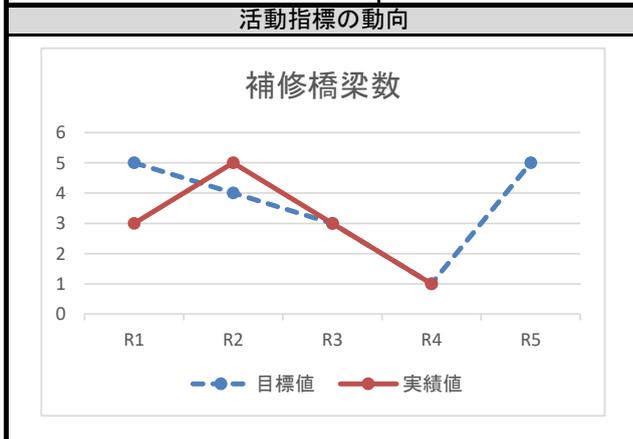
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
7	01	02	02	道路橋梁維持補修費	
担当課・係等					
土木管理課 維持補修係					

実施計画整理番号	402010203
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	市管理の橋梁について、計画的な予防保全的維持管理に転換を図り、長寿命化によるコスト縮減と併せて地域の道路網の安全性と信頼性を向上させる。	「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、順次橋梁の修繕を実施し、定期的に橋梁点検を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
橋梁長寿命化修繕計画を基に、構造物の長寿命化を図り、維持管理費のコスト縮減を考慮しながら修繕を実施している。社会資本インフラ施設の整備・保全を行う事で、安全性や利便性の向上が見込まれ、ひいては施策「生活道路の整備」に寄与している。		

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	56,740	107,514	101,666	86,900	98,450	63,377			
	国補助	千円	31,207	59,180	53,625	47,795	54,147	34,856			
	県補助	千円									
	市債	千円	15,800	43,386	39,298	35,100	31,700	18,200			
	その他	千円									
	一般財源	千円	9,733	4,948	8,743	4,005	12,603	10,321			
	人工数	人	1.4			1.3					
	人件費	千円	10,588			9832					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
橋梁長寿命化修繕計画を基に、緊急性などを考慮しながら、定期的な点検や補修を行う。	補修橋梁数	橋	目標値 4	3	1	5
		実績値 5	3	1		
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
地域の道路網の安全性と信頼性を向上させる。	橋梁の修繕率 早期に措置を講ずべき状態(Ⅲ判定以上)	%	目標値 増加を 目指し ます	増加を 目指 します	増加を 目指 します	増加を 目指 します
		実績値 68.8	87.5	100		



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
4	2	1 2	橋梁長寿命化修繕事業	

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	02	02	道路橋梁維持補修費

整理番号
402010203

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁点検及び橋梁修繕に伴う設計委託、橋梁の修繕工事を実施した。</p> <p>橋梁点検数 25橋 橋梁補修設計委託 3橋 橋梁補修工事 1橋</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる
	総合評価		
	B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>橋梁の点検については、5年に1度の割合で実施する事と義務付けられている為、全182橋を5分割して毎年点検しているが、点検の結果、修繕が必要と認められた場合、補修に対する設計業務を委託発注しなければならず、修繕費以外にも比較的大きな費用が必要である。</p> <p>国の補助金等を活用し事業を実施しているが、点検・補修設計・補修費を合わせると費用が嵩むことから、年間2～3橋程度の補修となっており、事業の進捗を図ることが難しい。</p>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>成果指標としていたⅢ判定以上の橋梁補修は今年度末で完了し、橋梁点検においても、Ⅲ判定以上の結果となった橋梁は無かったことから、今後は予防保全的な補修に切り替え、破損や腐食等の進行を遅延させながら、補修対象橋梁の減少を図り、既存施設の長寿命化に取り組んでいく。</p>	
企画政策課の評価		評価理由
<p>A</p> <p>A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当</p>		<p>インフラ施設の整備・保安を行うことで、安全性や利便性の向上に資する事業と認められる。引き続き、修繕計画に基づき、計画的に事業を進めるとともに、より効率的な手法により、予防保全に努めていただきたい。</p>

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	3	1	2	河川等	河川の整備
実施計画事業名					
河川改修事業(乗川)					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
7	02	03	01	河川改修事業	
担当課・係等					
土木建設課 河川整備係					

実施計画整理番号	
403010201	
総合戦略整理番号	

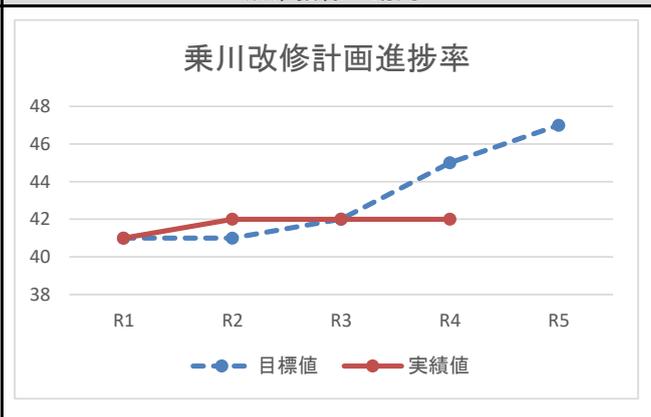
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	流域の浸水被害を軽減し、治水安全度の向上を図る。	河川改修に必要な用地取得及び橋梁架替を進めるとともに、放流先である二級河川赤目川改修事業の整備促進を国及び県へ要望する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	河川は、治水・利水機能のほか、防災・環境保全など様々な機能を果たしている。河川改修を進め、流域の浸水被害を軽減することにより、安全で豊かな地域社会を保全することにつながり、ひいては、施策「河川の整備」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	財源内訳	事業費	千円				0	32,000	0		
国補助		千円				0	12,125	0			
県補助		千円									
市債		千円				0	19,800	0			
その他		千円									
一般財源		千円				0	75	0			
	人工数	人	0.15			0.3					
	人件費	千円	1,134			2,269					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
河川改修に必要な用地取得及び橋梁架替を進めるとともに、放流先である二級河川赤目川改修事業の整備促進を国及び県へ要望する。	用地取得及び橋梁架替	目標値				
		実績値				
	赤目川改修促進要望活動	目標値				
		実績値				
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
流域の浸水被害を軽減し、治水安全度の向上を図る。	乗川改修計画進捗率	%	41	42	45	47
		実績値	42	42	42	

活動指標の動向

成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
4	3	1	2	河川改修事業(乗川)

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	02	03	01	河川改修事業

整理番号
403010201

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)

- ・国の第2次補正予算で適正な工期の確保が困難なことにより事業繰越したため、用地取得及び橋梁架替を実施することができなかった。
- ・赤目川改修事業の整備促進のため、国及び千葉県への要望活動を実施した。
(国:令和4年9月28日(郵送)、千葉県:令和4年10月28日)
- ・赤目川改修促進期成同盟会総会を6月23日に開催し、事業の進捗状況及び今年度の事業予定を地元へ周知した。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる

総合評価

C: 成果を挙げる事ができなかった(目標・目的を達成していない)

分析・評価(活動してどのような課題があったか)

- ・赤目川改修促進期成同盟会の総会が対面で再開されたことで、県と住民とで直接意見交換の場が設けられた。

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)

- ・用地取得等について、地権者及び地域の理解を求めていく。
- ・赤目川改修促進に係る国・県への要望活動を引き続き実施していく。
- ・赤目川整備の進捗状況について、今後も赤目川改修促進期成同盟会の場で周知を図る。

企画政策課の評価	評価理由
B	<p style="font-size: small;">A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当</p> <p style="font-size: small;">地域の浸水被害を軽減し、治水安全度の向上に資する事業と認められる。引き続き、整備促進に係る要望活動を実施するとともに、地域住民の理解を得ながら着実な事業実施に努めていただきたい。</p>

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	3	1	2	河川等	河川の整備
実施計画事業名					
河川改修事業(梅田川)					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
7	02	03	01	河川改修事業	
担当課・係等					
土木建設課 河川整備係					

実施計画整理番号	
403010202	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	流域の浸水被害を軽減し、治水安全度の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 早野排水機場の設置を行う。 早野排水機場完成後に梅田川の護岸整備・橋梁架替を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

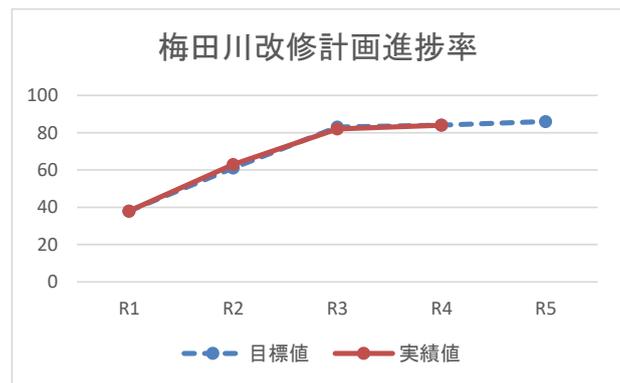
河川は、治水・利水機能のほか、防災・環境保全など様々な機能を果たしている。河川改修を進め、流域の浸水被害を軽減することにより、安全で豊かな地域社会を保全することにつながり、ひいては、施策「河川の整備」に寄与する。

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	536,529	919,118	463,918	71,500	475,720	414,376			
	国補助	千円	178,843	302,187	154,639	20,500	153,792	138,125			
	県補助	千円									
	市債	千円	321,900	560,400	278,300	45,900	296,000	251,100			
	その他	千円									
	一般財源	千円	35,786	56,531	30,979	5,100	25,928	25,151			
	人工数	人	1.36			1.1					
	人件費	千円	8,727			6,230					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
早野排水機場の設置を行う。また、排水機場完成後に護岸整備及び橋梁架替を実施する。	早野排水機場の完成	目標値			完成	
		実績値			完成	
	護岸整備・橋梁架替	目標値				
		実績値				
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
流域の浸水被害を軽減し、治水安全度の向上を図る。	梅田川改修計画進捗率	%	61	83	84	86
		%	63	82	84	

活動指標の動向

成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
4	3	1	2	河川改修事業(梅田川)

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	02	03	01	河川改修事業

整理番号
403010202

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・早野排水機場のポンプ整備が完成した。 ・早野排水機場外構工 アスファルト舗装A=980㎡ U型側溝(240×240)L=166.2m ・早野排水機場付帯工 工事延長L=262m アスファルト舗装工A=1138㎡ ・早野排水機場外水栓設置工 外水栓設置 1箇所 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も橋梁の架け替えや護岸改修に多額の費用が必要となってくることが考えられる。 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> ・国の交付金を活用するなどの財源の確保に努めるとともに、より効率的な工法等について検討する。 	
企画政策課の評価	評価理由
A	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 流域の浸水被害を軽減し、治水安全度の向上に資する事業と認められる。引き続き、財源確保を図りながら、より効率的な手法の検討・実施に努めていただきたい。

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	3	2	1	河川等	内水対策の推進
実施計画事業名					
内水対策関連事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
7	02	02	01	内水対策関連事業	
担当課・係等					
土木建設課 河川整備係					

実施計画整理番号	
403020101	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか) 内水氾濫による家屋等の浸水被害を大幅に軽減することを目標に対策を行う。	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか) 床上床下の浸水被害が大きい地区の水門に排水ポンプ施設等を設置し早期に被害軽減を図る。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	近年の気候変動に伴い、水災害が激甚化、頻発化していることから、浸水被害が大きい地区に排水ポンプ施設等を設置し、内水氾濫による家屋等の浸水被害を軽減することにより、生命・財産を守り、ひいては施策「内水対策の推進」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	317,570	375,098	66,840	609,408	885,689	673,392			
	国補助	千円									
	県補助	千円	110,000	108,040	1,985	140,424	189,895	104,911			
	市債	千円	155,600	230,000	30,000	395,400	687,400	479,600			
	その他	千円									
	一般財源	千円	51,970	37,058	34,855	73,584	8,394	88,881			
	人工数	人	3.53			3.3					
	人件費	千円	25,091			23,541					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
内水排除ポンプや排水路等の整備を進める。	鷺巣稻荷前水門ポンプゲートの完成	目標			完成	
		実績			完成	
	排水路整備	目標値				
		実績値				
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
家屋等の浸水被害の軽減	床上・床下浸水戸数の減少	目標値	減少を目指します			
		実績値				
活動指標の動向			成果指標の動向			

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
4	3	2	1	内水対策関連事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	02	02	01	内水対策関連事業

整理番号
403020101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・鷺巣稲荷前水門:排水ポンプ整備及び外構工が完了した。 ・排水路整備(高師):今年度、一部区間の施工を実施し、次年度完成を目指している。 ・東茂原:今年度、一部区間の施工実施している。 ・その他、排水路詳細設計や測量業務等を実施している。 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も内水排除ポンプ等の施設整備に多額の費用を要することが考えられる。 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> ・県の補助金等を活用するなど財源の確保に努めるとともに、より効率的な工法等について検討する。 	
企画政策課の評価	評価理由
<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 	<p>内水氾濫による家屋等の浸水被害の軽減に資する事業と認められる。引き続き、財源買う保を図るとともに、優先順位を考慮し適切で着実な事業実施に努めていただきたい。</p>

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	4	1	1	防犯	防犯体制の充実
実施計画事業名					
防犯対策事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
2	01	12	02	防犯対策事業	
担当課・係等					
生活課生活安全係					

実施計画整理番号	
404010101	
総合戦略整理番号	41201

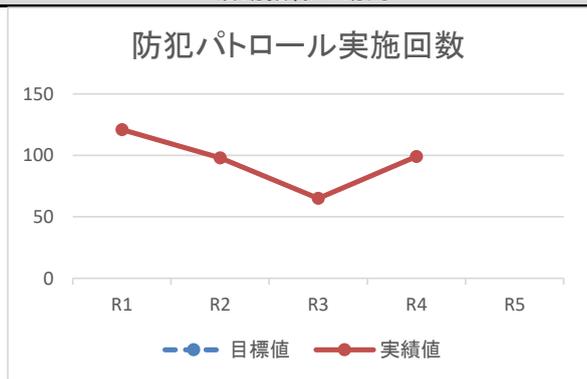
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	市民が安心して暮らせるよう、各防犯団体と協力し、犯罪の防止と市民の防犯意識の高揚を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 防犯パトロール活動の実施 防犯関係団体への活動支援
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

安全で安心な地域づくりには、継続的な取り組みが必要である。防犯パトロールの実施や防犯関係団体への活動を支援することで、地域の防犯活動の活性化に繋がり、ひいては施策「防犯体制の充実」に寄与する。

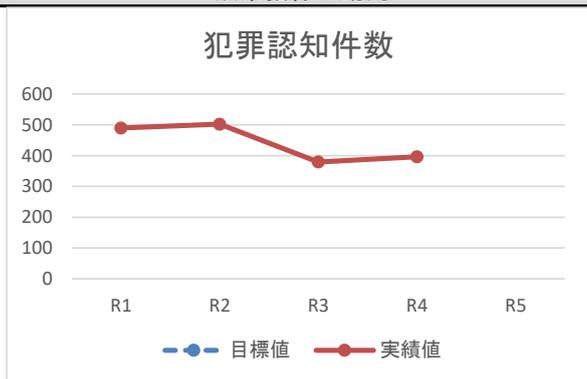
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	3,126	3,126	3,072	3,235	3,285	3,185			
	国補助	千円									
	県補助	千円	108	108	108	79	78	79			
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	3,018	3,018	2,964	3,156	3,207	3,106			
	人工数	人	0.9			0.9					
	人件費	千円	6,807			6,807					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
防犯組合、自主防犯団体、防犯ボックス等と連携し、年間を通じた防犯パトロールを実施することで、防犯対策の充実を図る。	防犯パトロール実施回数	回	増加を目指します 目標値	増加を目指します 目標値	増加を目指します 目標値	増加を目指します 目標値
		実績値	98	65	111	
	「電話de詐欺」防止広報啓発活動数	回	20	25	30	35
		実績値	33	67	76	
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
防犯パトロール、広報啓発活動を強化することで、安全で安心して暮らせるまちを形成し、犯罪認知件数の減少を目指す。	犯罪認知件数	件	減少を目指します 目標値	減少を目指します 目標値	減少を目指します 目標値	減少を目指します 目標値
		実績値	502	379	396	

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
4	4	1	1	防犯対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	12	02	防犯対策事業

整理番号
404010101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯パトロールについては、茂原市防犯組合防犯指導員122名により、1年間で合計111回実施した。 ・「電話de詐欺」防止広報啓発活動については、もばら安全安心メールを活用した情報提供、年金支給日には市内商業施設、市内金融機関での街頭啓発を実施した。 ・「電話de詐欺」防止の新たな取り組みとして、市内緑ヶ丘の独居世帯を訪問し、茂原警察署、地元自治会と連携して注意喚起を行った。 ・茂原警察署と連携し、小学生を対象とした防犯教室を合計11校で実施した。 ・不審者情報に基づき、もばら安全安心メールを活用し、速やかに注意喚起を行った。 ・新型コロナウイルス感染症に係る規制が緩和されたことで人流が増え、犯罪認知件数は昨年に比べ微増であったが、5年間の推移で比較すると減少傾向にある。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・安心で安全なまちづくりには、茂原市防犯組合による防犯パトロールのほかに自主防犯団体による防犯パトロールも重要になっているので、団体数を増やしていく必要がある。 ・もばら安全安心メールを活用した効果的な情報提供を行うには、更なるメール登録者数を増やす必要がある。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	③連携・協働の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防犯団体の結成について、他自治体の手法等を調査するとともに、自治会回覧を活用した「生活安全だより」において、自主防犯団体の活動状況を紹介をするなど、結成促進に取り組む。 ・市公式ウェブサイト、広報もばら、生活安全だより等を活用した周知を行い、メール登録者数を増加させる。 	
	企画政策課の評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 <p>本事業は地域の防犯活動の活性化につながるものと認められる。引き続き、もばら安全安心メールの普及を実施するとともに、SNS等も活用したより効果的な情報提供も実施していただきたい。</p>	

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	4	1	2	防犯	防犯体制の充実
実施計画事業名					
防犯ボックス事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
2	01	12	05	防犯ボックス事業	
担当課・係等					
生活課生活安全係					

実施計画整理番号	
404010201	
総合戦略整理番号	41202

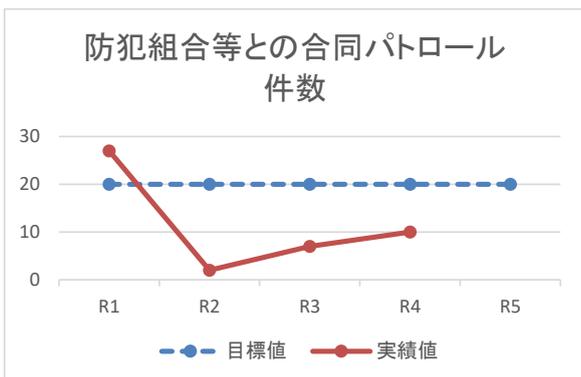
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	市民が安心して暮らせる社会をめざし、防犯ボックスを核に警察官OBを会計年度任用職員として採用し巡回パトロールや犯罪多発地域の重点警戒、市民への啓発活動等を実施することで自分たちの地域は自分たちで守るとい地域住民の防犯に対する意識の醸成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・茂原市防犯組合等との合同パトロールの実施、見守り、街頭監視 ・茂原市防犯組合等に対する指導・助言 ・広報及び情報発信活動 ・犯罪情報の入手
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

安全で安心なまちづくりの実現には、防犯ボックスと連携した取り組みが必要である。茂原市防犯組合等への指導・助言や合同パトロールを実施することで、地域防犯力及び防犯意識の向上に繋がり、ひいては施策「防犯体制の充実」に寄与する。

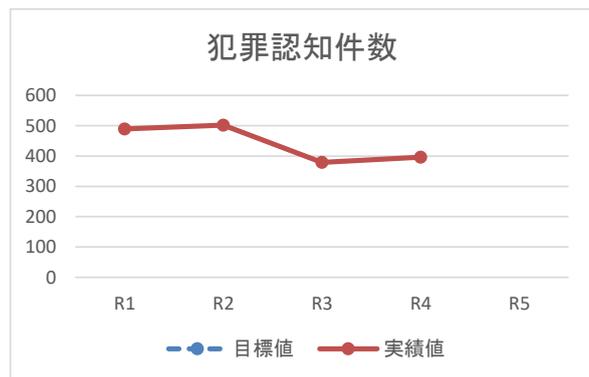
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	12,282	12,282	12,185	12,296	12,201	12,096			
	国補助	千円									
	県補助	千円	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000			
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	6,282	6,282	6,185	6,296	6,201	6,096			
	人工数	人	0.3			0.3					
	人件費	千円	2,267			2,269					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
防犯ボックスを核に、巡回パトロールや犯罪多発地域の重点警戒、市民への啓発活動等を実施することで、自分たちの地域は自分たちで守るとい地域住民の防犯に対する意識の醸成を図る。	防犯組合等との合同パトロール件数	目標値	20	維持します	維持します	事業終了
		実績値	2	7	11	事業終了
	防犯ボックス職員によるパトロール件数	目標値	362	362	362	事業終了
		実績値	362	362	362	事業終了
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
防犯ボックスを1年間ほぼ休みなしで開設し、防犯組合等との合同パトロールを実施することで、犯罪認知件数の減少を目指す。	犯罪認知件数	目標値	減少を目指します	減少を目指します	減少を目指します	事業終了
		実績値	502	379	396	事業終了

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
4	4	1	2	防犯ボックス事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	12	05	防犯ボックス事業

整理番号
404010201

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯ボックスを年間362日開設し、職員による防犯パトロールを、年間ほぼ休みなしで実施した。 ・防犯組合等との合同パトロールは、年間11回実施した。 ・不審者情報や行方不明者情報に基づいた重点的なパトロールを実施した。 ・青色パトロールカーを使用し、広範囲なパトロールを実施した。 ・毎月防犯ボックスだよりを作成し、自治会回覧を活用することで地域住民の防犯に対する意識の向上に努めた。 ・新型コロナウイルス感染症に係る規制が緩和されたことで人流が増え、犯罪認知件数は昨年に比べ微増であったが、5年間の推移と比較すると減少傾向にある。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度で防犯ボックス事業が終了してしまうが、防犯ボックスの存在や活動内容を知らない市民が多かった。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	D: 事業終了年度に達した			
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	企画政策課の評価		評価理由	
D	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 	本事業は地域防犯力及び防犯意識の向上に一定の成果を挙げたと認められる。事業終了に伴い、関係団体とはより連携し地域住民の防犯に対する意識の醸成に努めていただきたい。		

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	4	1	2	防犯	防犯体制の充実
実施計画事業名					
防犯設備設置・管理費					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
2	01	12	01	防犯設備設置・管理費	
担当課・係等					
生活課生活安全係					

実施計画整理番号	
404010202	
総合戦略整理番号	41203

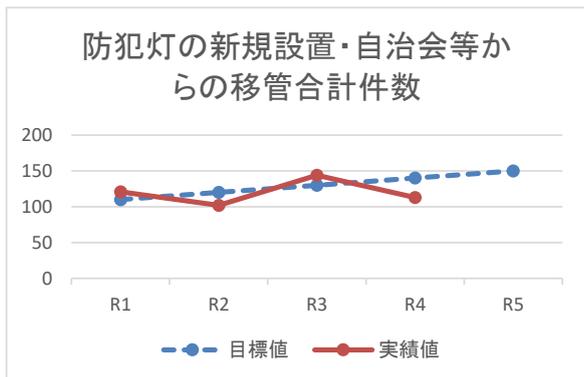
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	市民が安全で安心して暮らせるよう市内に防犯設備の設置及び維持管理を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 防犯灯の設置、維持管理 防犯カメラの設置、維持管理 自治会所有の防犯灯への維持管理補助
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

防犯灯や防犯カメラについては、防犯上危険と認められる箇所への設置など適正な配置に努める必要がある。また、自治会が所有する防犯灯の維持管理費を補助することで、地域の防犯力の向上に繋がり、ひいては施策「防犯体制の充実」に寄与する。

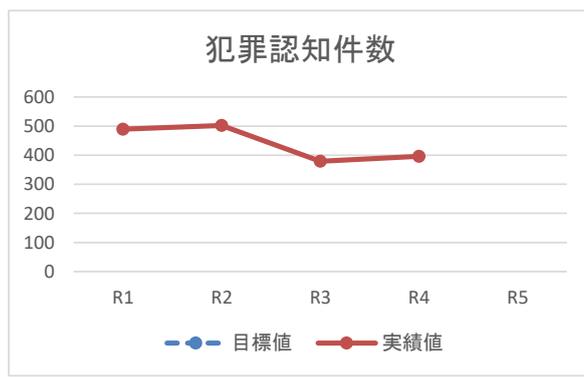
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	30,857	30,857	30,788	24,829	28,486	28,276			
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	30,857	30,857	30,788	24,829	28,486	28,276			
人工数	人	1			1						
人件費	千円	7,563			7,563						

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
市内に防犯灯や防犯カメラを設置及び維持管理することで、防犯対策の充実を図る。	防犯灯の新規設置・自治会等からの移管合計件数	件	120	130	140	150
		円	139	176	113	
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
防犯上必要と考えられる箇所へ防犯灯及び防犯カメラを設置することで、市民が安全で安心して暮らせるようにする。	犯罪認知件数	件	減少を目指します	減少を目指します	減少を目指します	減少を目指します
		実績値	502	379	396	

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
4	4	1	2	防犯設備設置・管理費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	12	01	防犯設備設置・管理費

整理番号
404010202

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯灯リース契約終了間際に、生活課生活安全係職員による夜間不点灯調査を行い、合計93灯の不点灯防犯灯を発見した。リース契約期間内であったため、約230万円の経費削減に努めた。 ・防犯灯新規設置要望に伴い、夜間現地調査を行い、合計33箇所に防犯灯を設置した。 ・市職員に対し、庁内情報メールを活用した防犯灯不点灯箇所の情報提供を依頼した。 ・防犯カメラの画像管理を徹底するため、4月及び11月に合計66台の画像確認を実施した。 ・捜査機関に対し、合計179件の防犯カメラの画像を提供した。 ・新型コロナウイルス感染症に係る規制が緩和されたことで人流が増え、犯罪認知件数は昨年に比べ微増であったが、5年間の推移と比較すると減少傾向にある。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる
	総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・防犯灯新規設置基準を満たしていない防犯灯を市へ移管しようとする自治会に対し、何らかの対策を検討する必要がある。 ・商店会解散に伴い、商店会が設置した街路灯を撤去することになった場合の防犯対策について検討する必要がある。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	①業務の整理・統合・集約化
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯灯を市へ移管する場合の基準を、自治会長ハンドブック等に掲載し、周知を徹底する。 ・商店会が設置した街路灯を撤去することになった場合、撤去前の街路灯の明るさを復元するには、防犯上必要な箇所に設置する市生活課の防犯灯では不十分であり、なお且つ設置目的が異なるため、市商工観光課、商工会議所、商店会連合会と定期的に意見交換を実施する。 	
	企画政策課の評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 防犯設備の設置及び維持管理を行うことで、市民の安全・安心及び地域の防犯力の向上に資すると認められる。引き続き、課題解決に向けて関係機関との連携を強化するよう努めていただきたい。	

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	5	1	1	交通安全	交通安全対策の推進
実施計画事業名					
交通安全対策事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
2	01	11	01	交通安全対策事業	
担当課・係等					
生活課生活安全係					

実施計画整理番号	
405010101	
総合戦略整理番号	42101

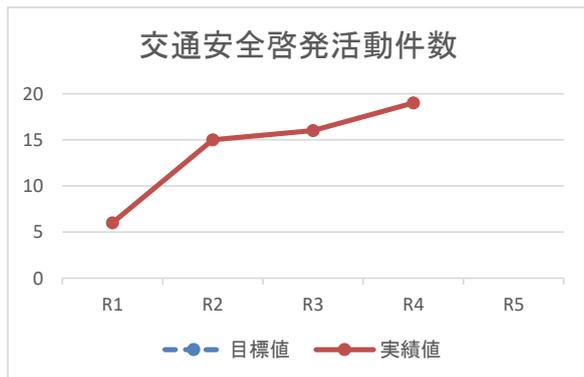
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	警察や交通安全活動団体と連携し、市民に対して交通安全に関する知識の普及と交通安全思想の高揚を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全運動啓発 各世代における交通安全教室等の安全教育の実施
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

交通事故を防止するためには、継続的な取り組みが必要となる。四季の交通安全運動の実施や各世代における交通安全教室等を実施することで、交通安全意識の向上に繋がり、ひいては施策「交通安全対策の推進」に寄与する。

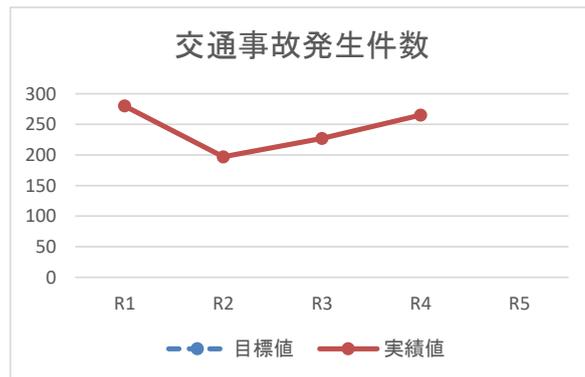
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	520	520	517	520	455	445			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	520	520	517	520	455	445			
	人工数	人	0.8			0.8					
	人件費	千円	6,050			6,050					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
警察や交通安全活動団体と連携し、市民に対して交通安全に関する知識の普及や、啓発活動等を実施することで、交通安全対策の充実を図る。	交通安全啓発活動件数	件	目標値: 増加を目指します 実績値: 15	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します
	交通安全教室開催回数	回	目標値: 増加を目指します 実績値: コロナの影響により開催なし	増加を目指します	15	15
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
市内幼稚園、小中学校において交通安全教室の開催、四季を通して交通安全啓発活動をすることで、交通安全思想の高揚を図る。	交通事故発生件数	件	目標値: 減少を目指します 実績値: 197	減少を目指します	227	265

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
4	5	1	1	交通安全対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	11	01	交通安全対策事業

整理番号
405010101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>・高齢者が関係する交通事故が多発しているため、高齢者が多く集まる「産業まつり」に参加し、チラシや反射タスキ等を配布するなど啓発活動に取り組んだ。</p> <p>・自転車保険加入義務化に伴い、新中学校1年生保護者に文書を配布し、加入促進に努めた。</p> <p>・茂原警察署と連携し、毎月「交通安全の日」に、交通量の多い通勤通学の時間帯に、市内主要交差点において街頭啓発を実施した。</p> <p>・四季の交通安全運動期間中、市役所前交差点・市役所市民広場に横断幕等の設置、市公式ウェブサイト、広報もばら等を活用した広報活動を実施した。</p> <p>・飲酒運転根絶を目的とし、市内主要交差点において街頭啓発を実施した。</p> <p>・交通安全啓発活動に取り組んだが、新型コロナウイルス感染症に係る規制が緩和されたことで人流が増え、交通事故発生件数は昨年に比べ増加傾向にある。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる
	総合評価		
	B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	<p>・イベント会場での啓発活動では、交通安全に関心な方が多く、興味を引き付けるのが困難だった。</p> <p>・飲酒運転による事故や高齢ドライバーによる事故を減少させるためには、新たな取り組みを検討する必要がある。</p>		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>・多くの方に交通安全に関心を持ってもらうため、集客力の高い商業施設や、JR茂原駅等で啓発物資やチラシ等を配布し、幅広い年代に対し広報活動を行う。</p> <p>・茂原警察署と連携した啓発活動回数を増やし、市民の交通安全意識の向上に取り組む。</p>	
	企画政策課の評価	評価理由
	B	<p>A: 計画どおり事業継続が適当</p> <p>B: 事業改善の検討が必要</p> <p>C: 事業の休止・廃止の検討が必要</p> <p>D: 事業終了が適当</p> <p>本事業は交通安全意識の向上に資する取組と認められる。一方で、更に市民が交通安全に関心を持ってもらうためには、現在の手法では限界を感じるため、SNS等による啓発を実施するなど新たな手法を取り入れるとともに、関係機関とより連携を図っていただきたい。</p>

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	5	1	2	交通安全	交通安全対策の推進
実施計画事業名					
交通安全施設の整備					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
7	01	04	02	交通安全施設整備事業	
担当課・係等					
土木建設課 道路整備係					

実施計画整理番号	
405010201	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	<p>自転車歩行者道等の整備を計画的に推進することで、歩行者、自転車の安全が確保される。 バリアフリーに配慮した歩道の整備を推進することで、高齢者や障害者をはじめ、全ての人々が安全安心に通行できるようにする。</p>	<p>歩道の工事等を実施する。</p>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

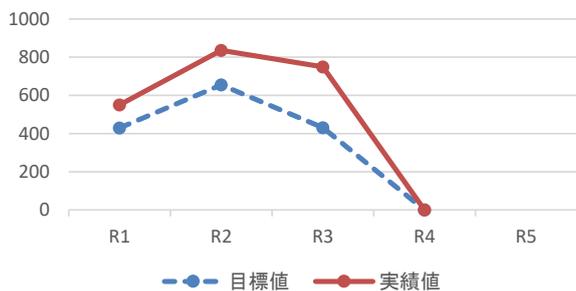
交通安全施設の整備により、歩行者、自転車の安全を確保する事につながり、ひいては施策「交通安全対策の推進」に寄与する。

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	117,370	136,696	136,141	43,000	39,539	22,083			
	国補助	千円	51,174	60,961	60,961	23,650	19,205	10,930			
	県補助	千円									
	市債	千円	59,400	67,400	66,900	17,400	17,900	9,900			
	その他	千円									
	一般財源	千円	6,796	8,335	8,280	1,950	2,434	1,253			
	人工数	人	2.3			1.5					
	人件費	千円	17,395			11,345					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
交通安全施設整備事業を進めることで、歩行者、自転車の安全確保に努める。	歩道整備延長距離	m	655	431	0	
			836	749	0	
			目標値			
			実績値			
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
交通安全施設整備事業を進め、通行の安全・安心が図られる。	歩道整備率	%	48.6	49.0	49.4	
			48.7	49.3	49.3	
			目標値			
			実績値			

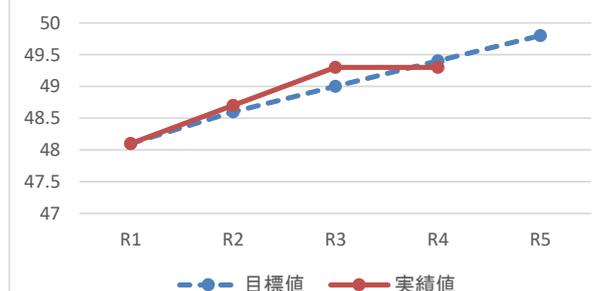
活動指標の動向

歩道整備延長距離



成果指標の動向

整備率



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
4	5	1	2	交通安全施設の整備

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	04	02	交通安全施設整備事業

整理番号
405010201

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・市道3級6101号線他1路線において、交通安全施設整備に伴う測量、設計等を実施した。 ・交通安全施設整備事業を進めることで、歩行者、自転車の安全確保ができるようになり、安全性が向上した。 ・交通安全施設整備工事を進めるにあたり、バリアフリーに配慮した歩道の設計をした。 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる
総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全施設の整備として、目標としていた設計ができた。 ・交通安全に関する住民意識・要望は増加しており、事業費増による対策が必要である。 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> ・交付金を活用するなど、財源の確保に努めるとともに、最小の経費で最大の効果をもたらすよう、工法等も検討する。 	
企画政策課の評価	評価理由
A	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 <p>歩行者及び自転車の安全・安心な通行に資する事業と認められる。引き続き、財源確保を図りながら、優先順位を考慮し着実な事業実施に努めていただきたい。</p>

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	5	1	2	交通安全	交通安全対策の推進
実施計画事業名					
交通安全施設管理事業					

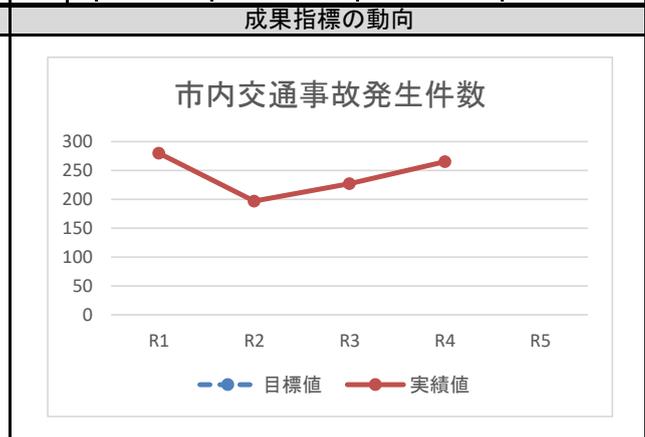
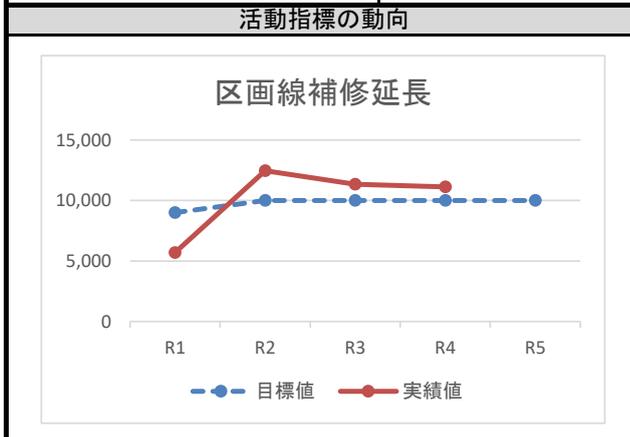
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
7	01	04	01	交通安全施設管理費	
担当課・係等					
土木管理課 維持補修係					

実施計画整理番号	
405010202	
総合戦略	
整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	区画線やカーブミラー等の交通安全施設の整備補修を行うことで、交通事故防止が図られる。	通学路を中心とした学童の安全と、歩行者や自動車が安全に通行できるように区画線の設置や引き直しを実施する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか) 全ての道路利用者が安全安心に通行出来るよう、標識やカーブミラーなどの安全施設の整備をはじめ、歩道整備やバリアフリー化を推進していくことで、道路交通における安全性を向上させ、ひいては施策「交通安全対策の推進」に寄与している。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	13,097	18,521	18,396	10,094	60,957	24,877			
	国補助	千円					24,522	5,005			
	県補助	千円									
	市債	千円					19,500	3,600			
	その他	千円									
	一般財源	千円	13,097	18,521	18,396	10,094	16,935	16,272			
	人工数	人	0.9			0.8					
	人件費	千円	6,807			6,050					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
区画線の引き直しや、標識・カーブミラーの設置を行い、各種交通に対する安全性の向上に努める。	区画線補修延長	目標値	10,000	10,000	10,000	10,000
		実績値	12,460	11,350	11,120	
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
		市内交通事故発生件数	件	減少を目指します 197	減少を目指します 227	減少を目指します 265



令和4年度 3年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
4	5	1	2	交通安全施設管理事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	04	01	交通安全施設管理費

整理番号
405010202

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	区画線引き直し L=11,120m 歩行スペース確保(グリーンベルト) A=244㎡ カーブミラー新設・補修 N= 29基 注意看板新設・補修 N=31基		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
学校や公共機関周辺及び幹線道路を中心として区画線引き直しを実施しているが、市内各所で道路の傷みが激しく、区画線引き直しが難しい場所も存在し、多くの路線を補修することは困難であった。カーブミラーや注意看板についても、当て逃げなどの破損が数件あり、自治会要望の新設の件数に影響があった。 また、物価高騰の影響に伴い、施工量の縮減や資材の調達などに影響があった。			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要		④調達方法の見直し	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	危険箇所や補修対象箇所を抽出し、緊急性及び必要性を考慮しながら、工法などを見直しコスト縮減に努め、補修や整備を進めていく。			
企画政策課の評価		評価理由		
B		A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当		
		交通安全施設の整備補修を実施することで、安全安心な交通が確保され、交通事故防止に資する事業と認められる。引き続き、市民要望の把握に努めるとともに、優先順位を考慮しながらより効率的な事業実施に努めていただきたい。		

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
4	5	1	5	交通安全	交通安全対策の推進
実施計画事業名					
放置自転車等対策事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
7	03	01	13	放置自転車等対策事業	
担当課・係等					
都市計画課交通政策係					

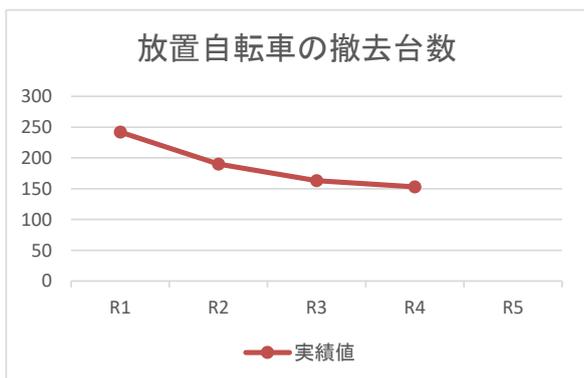
実施計画整理番号	
405010501	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	放置自転車等による歩行者等の通行障害等を防止し、良好な都市景観と交通環境の確保が図られることを目指す。	放置自転車防止啓発活動 駅前放置自転車等の整理
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	放置自転車については、交通の支障及び街の美観を損なう等の影響を引き起こすため、茂原市自転車等放置防止に関する条例に基づき指導や撤去を実施し、ひいては施策「交通安全対策の推進」に寄与する。	

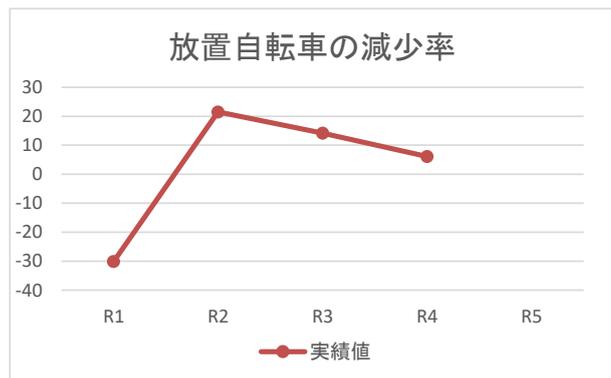
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	940	940	844	838	905	868			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円	117	117	120	117	97	100			
	一般財源	千円	823	823	724	721	808	768			
	人工数	人	0.3			0.4					
	人件費	千円	2,269			3,026					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
・委託により定期的に放置自転車等の撤去・整理を行う。 ・禁止区域標識や広報誌による周知、放置自転車クリーンキャンペーンでの啓発活動等を実施する。	放置自転車の撤去台数	台	目標 減少を目指します 実績値 190	目標 減少を目指します 実績値 163	目標 減少を目指します 実績値 153	目標 減少を目指します 実績値
	啓発活動数	回	目標 実績値 62	目標 実績値 59	目標 実績値 53	目標 実績値 62
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
放置自転車等を減少させることにより、歩行者等の通行障害等を防止し、良好な都市景観と交通環境の確保が図られる。	放置自転車の減少率	%	目標 増加を目指します 実績値 21.5	目標 増加を目指します 実績値 14.2	目標 増加を目指します 実績値 6.1	目標 増加を目指します 実績値

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
4	5	1	5	放置自転車等対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	01	13	放置自転車等対策事業

整理番号
405010501

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・市内高等学校での啓発活動は新型コロナウイルスのため中止となったが、市営自転車駐車場で啓発活動を実施した。 ・放置自転車等整理業務については、公益社団法人茂原市シルバー人材センターに委託し、実施した。 ・自転車等駐車対策協議会を開催し、自転車等放置禁止区域の見直しを行った。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症が引き続き蔓延する中、効果的な啓発活動を実施する必要がある。 ・放置自転車等整理業務については、公益社団法人茂原市シルバー人材センターに委託し、計画どおり実施できた。 ・自転車等駐車対策協議会については、引き続き問題となる案件が生じた場合に開催する必要がある。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を講じたうえで、効果的な啓発活動を実施する。 ・放置自転車等整理業務については、今後も引き続き公益社団法人茂原市シルバー人材センターに委託し、実施する。 ・自転車等駐車対策協議会については、今後も必要に応じて開催する。 	
	企画政策課の評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 良好な都市景観と交通環境の確保に一定の成果を挙げていると認められる。引き続き、より効果的な周知や啓発活動を実施し市民の意識向上に努めていただきたい。	